

# 4団体 被災者支援通信

Vol.10

4団体の被災者支援情報を定期的にお伝えいたします。

平成23年4月6日(水)

## ～ 自分に何ができるのか、自分にできることを～

### 株式会社オリバーツウ・リアルエステート

4団体緊急対策本部では、ボランティアを募集中です。現地対策本部にボランティアに入り、支援活動をされた4団体会員の株式会社オリバーツウ・リアルエステート 木下様・古川様にお話を伺いました！

#### 復興した地を再び訪問したい

「報道を見て、自分に何ができるのか考え、何もできない無力さを感じていました。そんなときに、ボランティア募集の案内を見て、自分にも何かできるかも知れないと参加を決めました。

現地対策本部では、4団体会員企業から届く支援物資の整理や、遠方の会員企業を訪問して物資を配りました。現地入りする前は、避難所などにも直接物資を持って行けると思っていたのですが、実際には自治体によって規制がかけられ入れませんでした。

すぐそこに支援を必要としている人がいるのに、何もできないもどかしさを感じました。被災地の皆様に笑顔が戻る日を心から祈っています。そして、復興した現地をいつか再び訪問したいです。今自分に何ができるのか、できることをやっていきたいです。」(木下様)



物資の仕分け作業(古川様・木下様)

#### 微力ながらも力になっていければ

「参加が震災発生から2週間以上経過してからだったこともあり、日一日と復興に向けて動き出している様子が強く伺われました。しかし、石巻の港湾病院の送迎にも参加した際、津波の影響を受けて壊滅した地域を目の当たりにするとさすがに言葉を失い、被災者ではない自分ですえも全身の力が抜けて無力感に襲われました。同時に、もっと支援をすべき場所があるにもかかわらず、そこへ手出しのできない歯痒さを強く感じました。

これからも継続して、自分にできることを探しつつ、微力ながらお手伝いをさせて頂ければと思っています。復興には多くの方々の協力が必要だと思いますので、4団体の枠を越えた支援活動の広がりを期待します。」(古川様)



石巻市港湾病院の送迎の様子  
(古川様撮影)

#### ボランティア募集のお知らせ

4団体緊急対策本部では、ボランティアを募集しています。被災地は徐々に復旧に向かっていますが、M9.0の地震、10メートルを超える津波がもたらした被害はあまりにも大きく、避難所で生活する方はもちろん、4団体会員皆様も対応に追われている状況です。皆様のご協力をお願いします。詳しくは、「緊急対策本部からのご案内 No.24」をご確認ください。

災害時住宅支援サイト物件データ入力やメンテナンスに関わるボランティアも募集中です！